

1. 平置き無加温育苗法を併用した浮き楽栽培法による水稻育苗

1. 背景とねらい

本県は、水稻育苗管理作業を省力化する技術として浮き楽栽培法を開発し、マニュアルを公開しています。ここでは、新たに平置き無加温育苗法を併用した浮き楽栽培法による水稻育苗について紹介します。この併用法では、浮き楽栽培法の搬入および整列作業が省力化するというメリットを生かせる上、育苗器が不要となり、育苗器への搬入出作業が無くなるため、さらなる省力化を図ることができます。

2. 成果の内容

- 1) 塩水選(比重 1.13)・種子消毒・催芽処理済みの種籾を育苗箱に播種し、フロートに載せて水を溜めたプールにローラーコンベアを使用して浮かべます(図 1)。全て浮かべて整列が終了したら、直ちにプールの水を抜きます。
- 2) プールを保温シートで覆って、出芽させます。日中はシート内が 30℃以上にならないように開閉して温度調節します。乾燥が激しい場合は適宜灌水しますが、プールに水が溜まって育苗箱底面が浸水しないように注意します。
- 3) 出芽が十分に揃ったら(図 2)、再度プールに水を溜めて浮き楽栽培法で管理します。
- 4) 平置き無加温育苗法を併用した浮き楽栽培法で育苗した苗は、出芽後頭上灌水管理で育苗した苗と同等以上の苗質が得られます(表 1)。

3. 普及上の留意点

- 1) 播種した育苗箱をプールに整列させた後、発芽不良を防ぐため、育苗箱が水に浸からないようにプールの水を完全に抜いてください。
- 2) 育苗器を利用した場合よりも出芽日数が長くなり、気温に応じたこまめな温度管理が必要となります。育苗時期とハウスの作業回転をよく検討して導入してください。
- 3) 農業技術センターホームページにて、本栽培法のマニュアルを公開しています。

[検索キーワード:浮き楽, 平置き無加温育苗法, マニュアル] (栽培技術研究部)

4. 具体的データ



図 1 播種直後のプール搬入・整列の様子

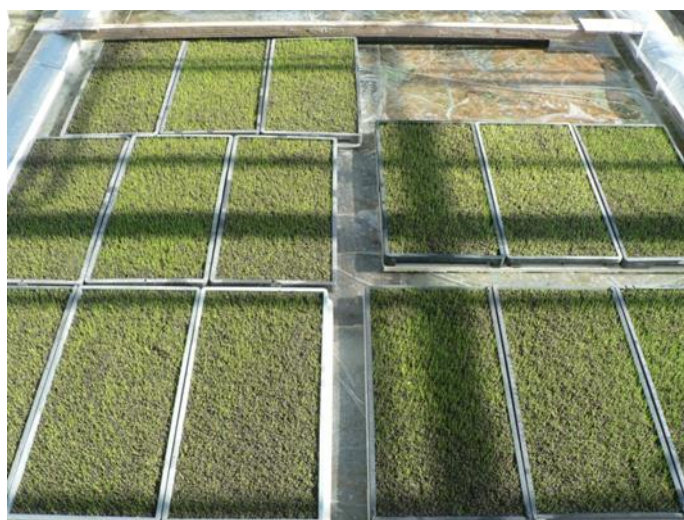


図 2 平置き無加温状態で発芽した様子

表 1 平置き無加温育苗法を併用した浮き楽栽培法による水稻苗の成長

出芽後の管理方法	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	葉色 (SPAD)	生体重 (g/100本)	乾物重 (g/100本)
浮き楽栽培法 ¹⁾	2.2	12.8	27.8	5.9	1.1
頭上灌水 ²⁾	2.1	12.3	27.8	5.5	1.1

※供試品種はコシヒカリ。培地はくみあい宇部粒状培土 2 号を使用。

※4月 11 日～16 日に浸種し、4月 17 日に播種。5月 7 日調査。

- 1) フロートに搭載してプールに搬入し、整列後直ちにプール水を抜き、保温シートで被覆して管理。
4月 23 日にほぼ出芽が揃ったので、保温シートを除去し、プールに水をためて、浮かべた状態で管理。
- 2) フロートに搭載してプールに搬入し、整列後直ちにプール水を抜き、保温シートで被覆して管理。
4月 23 日にほぼ出芽が揃ったので、保温シートを除去し、頭上灌水で管理。